

あわせ いし 合石神楽保存会

(岩手県 花巻市)



出演日時：11/1 10:20～ 演目：龍殿

合石神楽は、1780年頃、合石集落（大迫町外川目地区）にある山神社の奉納神楽として始められました。その始まりは、岳神楽による当集落巡業時に学んだと伝えられており、岳神楽の弟子にあたります。1906年、神楽の先人たちは北海道（現在の二セコ町及び厚沢部町）に移住し、合石神楽は一時中断せざるを得ない状況となりましたが、その後間もなく大償神楽を師として復活しました。このため、歴史的、地理的にも、岳神楽、大償神楽双方の影響を強く受けている珍しい神楽であり、舞ぶりは豪壮な岳流、流麗な大償流どちらも併せ持っているといわれています。花巻市指定無形民俗文化財に指定されています。

阿・伝鬼面の荒舞です。竜については、水神とも海神とも天海神ともそれぞれの物語によって変わっていて、竜王の舞となっていますが、どのような性格の竜なのか定かではありません。激しい鎮め、抜刀、振りそして面をはずしての華やかな太刀の舞です。